

明日を拓くひとの発想ペーパー

生活者

心の等高線



100

95

90

85

80

75

70

65

60

55

50

45

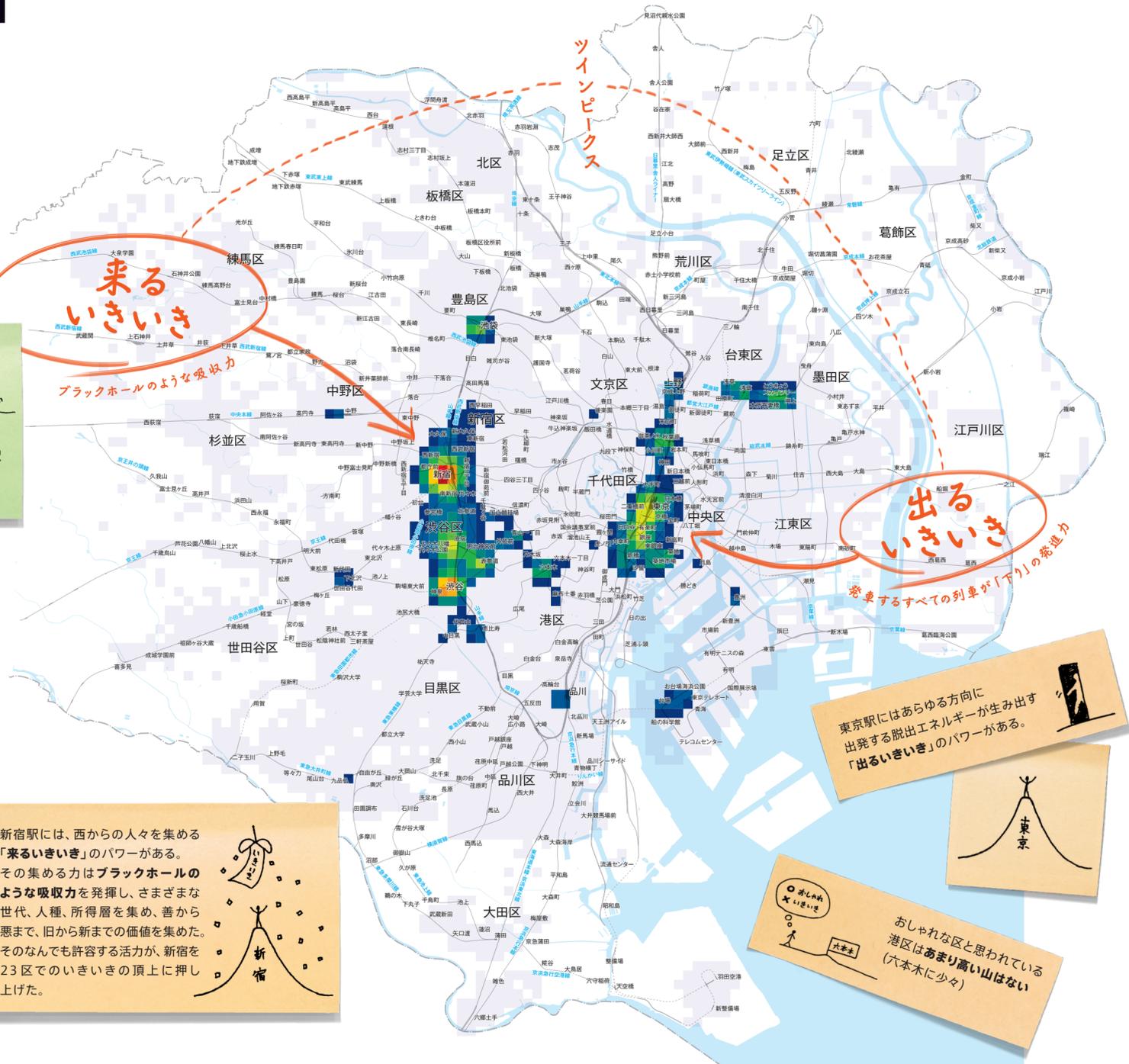
40

35

0 1000

2014.6 Vol.11
博報堂生活総合研究所

東京のいきいきは、かなり急勾配のツインピークスになっている。



東京駅にはあらゆる方向に
出発する脱出エネルギーが生まれる
「出るいきいき」のパワーがある。



おしゃれな区と思われる
港区はあまり高い山はない
(六本木に少々)

新宿駅には、西からの人々を集める
「来るいきいき」のパワーがある。
その集める力はブラックホール
のような吸収力を発揮し、さまざま
世代、人種、所得層を集め、善から
悪まで、旧から新までの価値を集めた。
そのなんでも許容する活力が、新宿を
23区でのいきいきの頂上に押し
上げた。



来る
いきいき
ブラックホールのような吸収力

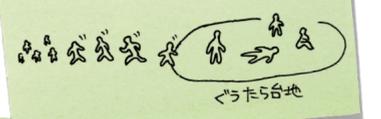
出る
いきいき
東京ですべての列車が「下り」の発進力

ぐうたら等高線 いきいき等高線

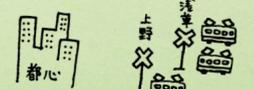
上野から常磐線に沿って「ぐうたら山脈」が走る。
その頂上は、常磐線の終着駅上野と京成線の終着駅
京成上野。
南千住にも、かなり高い峠がある。



高度成長期以降の東京は西へ西へと発展
し、それとともに西方には「近代化=効率
化・規格化」の価値観が押し付けられた。
その流れに乗らなかったこの台地に、自分
のペースで暮らすという現代の生活者が
求めるしあわせの因子になって残った。



ぐうたら台地を走っているおもな鉄道は、
京成線・東武線・常磐線の3つ。京成線と
常磐線は上野で行き止まり。京武線は
浅草で行き止まり、それぞれ、乗り入れて
いるメトロ線が都営線の力を借りないと
都心に出られない。鉄道の乗り入れ駅や
乗り換え駅は、暮らしのリズムの切り替え
ポイントになっているのかもしれない。



土地には、においがあります。気配があります。
行ったことのない場所でも、心の中に「あるイメージ」が浮かぶものです。
そしてそれは、人によって違うこともあるし、同じ場合もあります。
だから、ある人が「あるイメージ」を感じる「土地の範囲」を調べ、
それを何人分も重ねあわせると、多くの人が心に感じる印象の強弱を、
イメージの起伏の図として描けます。これを「心の等高線」と名づけました。
あなたの知っている東京23区は、どんなイメージの高低差を持っているのでしょうか。
いつもの地図からは見えてこない心の東京散歩をお楽しみください。

「心の等高線」が描く東京の別な顔
東京23区在住の20代から60代の男女400人に、「くうたら」「いきいき」「女性」「男性」という4つの言葉について、23区内でそれぞれの印象を感じている場所を尋ねました。そして、それぞれ400人分を重ねあわせて、4枚の「心の等高線」を描きました。
凡例に示すように、それぞれの印象の高さの度合いを、色の変化で示しています。山頂となる場所は、最も濃い赤です。
東京は心の中のイメージで見ると、いったいどんな町なのでしょう。じっくりとご覧ください。

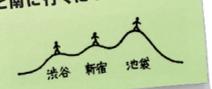
足立区・荒川区・台東区・葛飾区・江戸川区に広がる
広大な「ぐうたら台地」。

ぐうたら台地

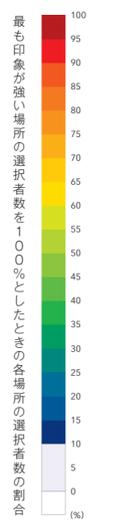
ぐうたら山脈

東京はぐうたらな町だった。

西池袋にも丘があるが、高さは南千住と北千住の中間。それでも山手線西側では最も高い。
池袋、新宿、渋谷と南に行くにつれ頂上の高さが低くなる。



南へ行くほど頂上の高さが低い



今号の発想リソース

「心の等高線」調査

東京23区を細かく区分けした地図を見せたくえで、ある言葉を提示し、そのイメージを感じる場所をすべて選んでもらいました。それを重ね合わせてイメージの強弱を表現したのが「心の等高線」です。

(東京23区在住の20才~69才男女/400人/インターネット調査/2014年2月~3月)



データ特別公開

今回の掲載結果以外にも、いくつかのイメージについて同様の「心の等高線」調査を行いました。ホームページ「生活総研ONLINE」で公開しましたので、ご興味がある方は、こちらからアクセスをお願いいたします。

URL: <http://seikatsusoken.jp/report/8203/>

[今号で紹介したもの以外に調査したイメージ語]

私にとってのしあわせゾーン

カワイイ

シブい

おもてなし

変わってほしい

もうこれ以上変わらないでほしい

調査手法について

今回は、土地のイメージを探るために、インターネットを使った新しい調査手法を東京サーベイ・リサーチと共同で開発しました。この手法は、地図だけではなく、ある空間や店舗内外や商品のどの部分に生活者が関心を強く持っているかといった意識調査にも使うことができます。詳しくは、下記へお問い合わせください。

株式会社 東京サーベイ・リサーチ 担当: 島守/寺本 電話: 03(5649)2823 mail: k-marker@tsrn.co.jp